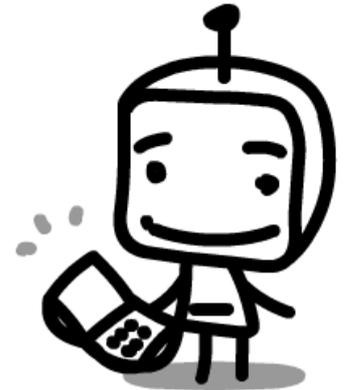


こんにちは、アイ・シー・キューブのキューブ君です！
パソコンのことなら何でも任せてね。
新装開店、IC3通信の第2号をお届けしまーす！
今回はセキュリティの話だよ。



御社のデータがあぶない！

情報漏えい事件が世間を騒がせている昨今、まさか自分の会社のデータは大丈夫だろう、などと安心しきってはいませんか？または、情報漏えいの危険性はわかっているが、これ以上費用がかかるのは困る、などと…。確かに機密保持に関して、何もしなければ、かかるコストはゼロには違いありません。しかし、いったん情報漏えいが発覚した時、失うものの大きさは計り知れません。何よりもまず、御社へのお客様の信頼が失われてしまうのです。

ご存知のように今年の4月から、個人情報保護法が完全実施されました。これは、個人情報の取り扱いに関して、一定の規制を設け、かつ、個人データを安全に保管する義務を設けたものです。5000件以上の個人情報を所有する業者はこの法律の対象となります。しかもこれは人数ではありません。情報の件数としてカウントした場合、5000件などあっという間に超えてしまうでしょう。

また、この法律はプライバシー保護を目的としたものでは

ありません。個人情報を保護することが目的です。どんな企業にも個人情報はあります。これをなるべく少なくする、というような意味ではなく、責任を持って管理しなさい、という法律なのです。そして、違反があった場合、当然罰則も用意されています。

さて、情報漏えい防止に関して、最も重要なものは、運用者の意識です。運用する側が積極的に情報を守ろうとしない限り、いったん狙われたら、情報の漏えいは止められないでしょう。意識を高めるためには、情報を取り扱いに関する社内システムを整備する必要があります。そして、そのシステムを整備するために最も適したツールが、コンピュータを中心にしたIT製品であると我々は考えています。

当社では、コンピュータのデータを守るための最新のIT製品を取り揃えて、コンピュータセキュリティのコンサルティングを実施しています。

顧客管理 = 顧客データの有効活用 = 顧客情報の保護

前回ご紹介させていただいた『顧客奉行21』ですが、顧客データを有効活用するためのだけのソフトではありません。大切なお客様のデータを外部に流失させないための機能も多く備えています。たとえば、データを扱うユーザーに対して、細かく権限を設定することにより、データの保護や閲覧を制限することができます。当然パス

ワードでの制限も行えます。また、「OBCセキュアアクセスキー」というUSBメモリーをパソコン本体の鍵にしたハードウェアからの保護を行えば、漏えいの危険性はぐっと抑えられます。詳細は、弊社担当営業にお尋ねください。

顧客データを守り、かつ有効活用するためのソフト『顧客奉行』を是非ご検討ください。

お問合せはこちら

株式会社アイ・シー・キューブ
〒310-0021
水戸市南町3-3-43小林ビル5F
TEL 029-228-0116
FAX 029-233-0882

お気軽にお問い合わせください

担当：

